

梅田宏明×東京藝術大学 ワークインプログレス公演

2018年2月15日(木) 16日(金)
東京藝術大学Arts & Science LAB. 4階 球形ホール

昨年、梅田宏明氏に東京藝術大学Arts & Science LAB.の球形ホールで上演していただいた作品は、多くの人々に衝撃を与えた。その成功を受け、この一年、東京藝大COI (Center of Innovation) 拠点では、梅田氏とともに、身体と映像と空間の融合した新しい作品づくりに取り組んできた。

ここでしか観られない、ここでしか感じるこのできない作品が生まれつつある。ぜひ、多くの人に、その経験を共有していただきたい。——— 平田オリザ

上演作品

梅田宏明 新作ソロ
ワークインプログレス

振付・出演：梅田宏明
イメージ・ディレクション：S20
サウンド・デザイン：S20
ライティング・デザイン：S20

Somatic Field Project 新作
ワークインプログレス

振付：梅田宏明
出演：Somatic Field Project
イメージ・ディレクション：S20
サウンド・デザイン：S20

TIMETABLE
タイムテーブル

開演 2018年2月15日 [木] 15:00 / 19:00
16日 [金] 15:00

受付開始 開演の60分前 開場 開演の30分前

- ※ 各回終了後にトークを実施します
- ※ 未就学児のご同伴、ご入場はご遠慮ください
- ※ 作品上演中の途中入退場はお断りさせていただきます
- ※ スケジュール・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください

2018.2.15. (Thu)

2018.2.16. (Fri)



TICKET
チケット

入場無料 ※要事前申し込み

お申し込みURL

<https://peatix.com/event/328649/>

お問い合わせ

東京藝術大学Arts & Science LAB.

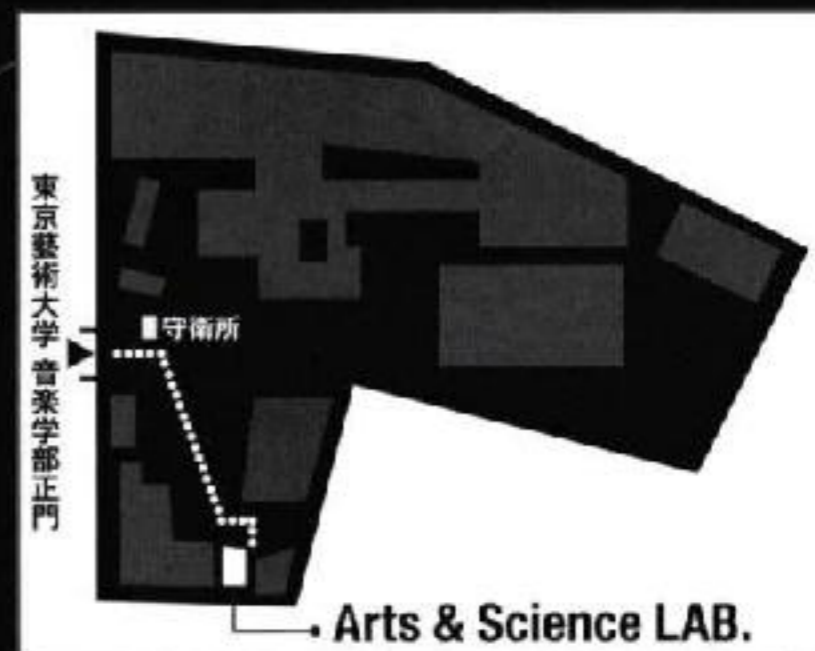
MAIL info-rp.arts@ml.geidai.ac.jp

TEL 050-5525-2402

VENUE
会場

東京藝術大学
Arts & Science LAB.
4階 球形ホール

〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8



PROFILE
プロフィール



梅田 宏明 うめだ ひろあき

振付家、ダンサー、ビジュアル・アーティスト。2002年、横浜ダンスコレクションRで発表した「while going to a condition」が高く評価され、フランスのRencontres Choréographiques Internationalesに招聘される。2007年、パリのシャイヨー国立劇場で「Accumulated Layout」を上演。以後、デジタル・イメージ、ミニマル・サウンドスケープ、そして雄弁な身体を美しく統合するソロ新作群が、旧作と共に世界のフェスティバルや劇場より招聘される。2009年には、10年計画となる振付プロジェクト「Superkinesis」を開始、異なる文化的背景を持つダンサーとの共同創作を行っている。その他委託振付作品に、Göteborgs Operans Danskompani「Interfacial Scale」(2013年)、L.A. Dance Project「Peripheral Stream」(2014年)などがある。2014~16年度セゾン文化財団シニア・フェロー対象アーティスト。